

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】鮭川村バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
11	2006.3.31			山形県	鮭川村	5,638	122.24
構想の要約		鮭川村環境条例を基本に、地域の特産物である茸栽培から発生する廃菌床等からの高品質完熟堆肥生産や木質バイオマスを利用した栽培施設への電気、熱供給を行い、基幹産業である農業振興や地域活性化に結びつけ、循環、共生の地域作りを目指す。					
構想に盛り込まれた事業		1 堆肥センター利用組合の設立 2 廃食用油リサイクルの推進(BDF利用等) 3 木質バイオマス利活用施設の建設 4 集落排水汚泥の利活用施設の建設					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス						
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス			資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど			資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)	○	野菜等非食部				
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材		○		
廃食用油	○	果樹剪定枝		○		
水産加工残さ		竹材				
製材工場等残材	○	その他( )				
建設発生木材						
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草						
古紙・廃棄紙						
下水汚泥など						
その他( )						

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	○
その他(敷料等)		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

	①発生総量	②既利用量	③利用が想定される量	想定利用割合 (②+③) / ①
廃棄物系バイオマス	3, 5 2 9	2, 6 5 4	7 0 3	9 5. 1%
未利用バイオマス	3, 6 5 6	2 7 2	1, 5 1 6	4 8. 9%
合計	7, 1 8 5	2, 9 2 6	2, 2 1 9	7 1. 6%

(1) 利活用目標

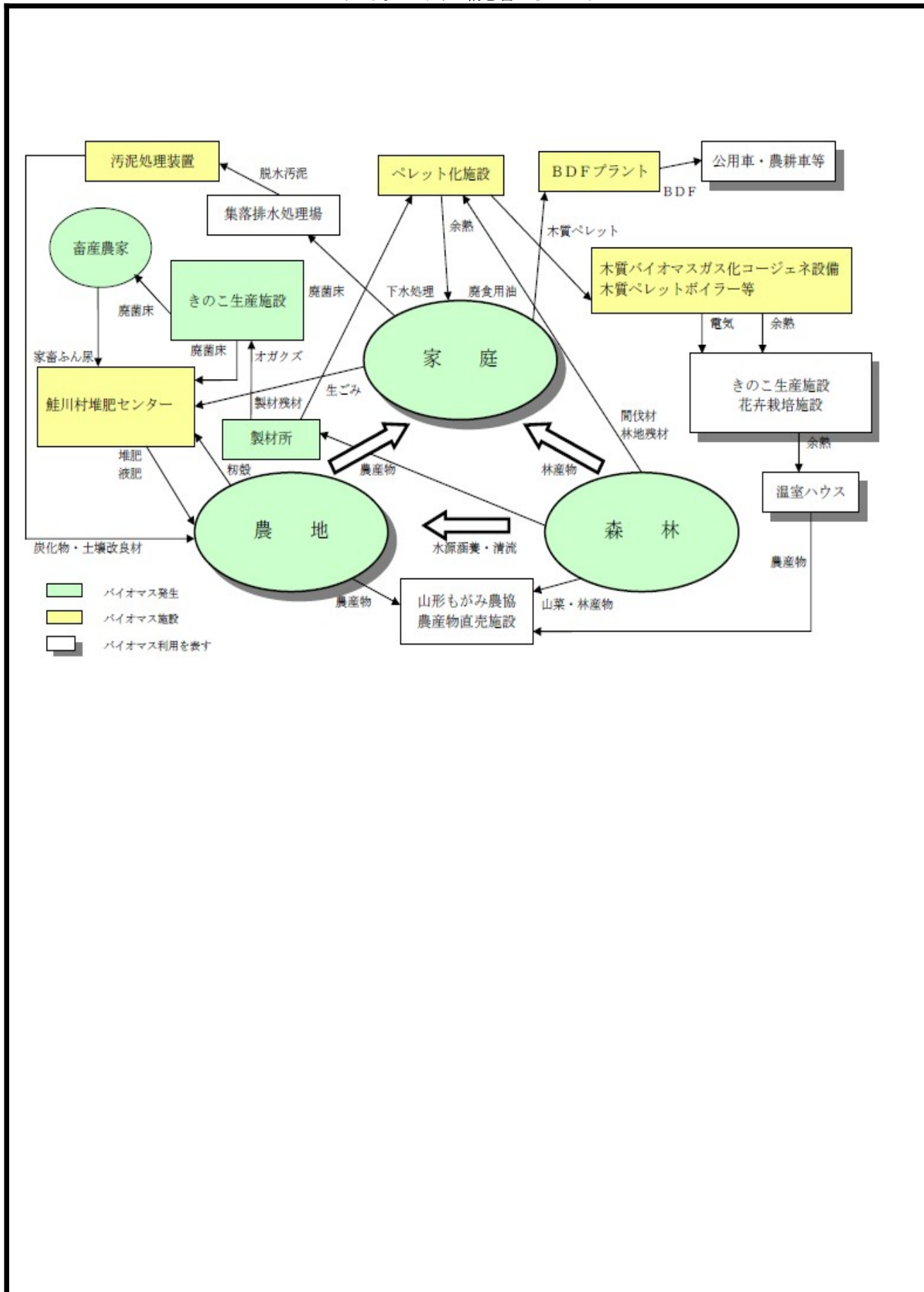
具体的展開メニューをすべて実施した際のバイオマスの利用割合(炭素換算)を次の別表-1に示すとおり、全体のバイオマスの発生量に占める利活用は71.6%の利用を目標にする。

廃棄物系バイオマスは、廃菌床や製材所残材等を利用した木質バイオマスガス化コージェネ設備の導入や、廃食用油のBDF化による利用を行い、95.1%を目標に利用する。

未利用バイオマスは、林地残材・間伐材等をペレット化、チップ化しペレットストーブ・ボイラー等の導入等により、48.9%の利用を目標とする。

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)